

「新潟ハーフマラソン 2023」での江南区 PR について

1 趣旨

「新潟ハーフマラソン」はコースの大半が江南区であり、市内外から約3,000人が参加する大会であることから、大会を盛り上げるとともに、江南区の魅力を大会参加者や市民にPRする。本事業は、江南区自治協議会との共催事業とする。

2 実施内容

日 時：令和5年3月19日（日） 午前8時～午後1時（予定）
会 場：デンカビッグスワンスタジアム（中央区清五郎）

ゴール付近に江南区のブースを設置し、下記の取り組みを行う。
【予算】約40万円

①江南区の魅力が入った撮影スポットの設置

完走したばかりのランナーがすぐやりたいことは、家族や友人に「完走したことを伝えたいこと」。そこで、ゴール地点を模した撮影コーナーを設置し撮影ポイントとして集客を図る。

ここに、参加者に伝えたい「江南区の魅力」を加えて撮影をしてもらい、さらには、その写真を拡散してもらうような仕掛けを設ける。

②江南区特産品のふるまいドリンク・フードの提供

江南区の名産をモチーフとした無料ドリンク&フードコーナーを開設し、ランナーや同行者を対象に、特産品のドリンクやフードを提供する。

江南区親善大使のモチーフとなっている5種類を集め、特産品の認知度を高める。

（提供予定品）

コーンスープ、梅ジュース、なす漬け、梨サイダー、越後姫 計3,000杯
（2019年の様子）

